

西山製麺と札幌ラーメンの歩み



昭和24年二条市場の一角に屋台と同じ屋号の「だるま軒」を構えるまでになった西山仙治。麺の美味しさから店は、大繁盛。



昭和25年頃、円山公園の花見会場に出された「だるま軒」の屋台の前に立つ、西山仙治(左)とこの頃富山からやってきた孝之(右)。



昭和28年に開業した西山製麺所の前で従業員たちと記念撮影をする孝之(写真中央)。一國一城の主として孝之にも貴様がついてきた。



「味の三平」の大宮守人(左)と孝之(右)の昭和28年頃のツーショット。一緒にバイク旅行をするほど仲が良かった。



昭和35年頃、現在の西山製麺の社長である西山隆司を抱く孝之。「多加水熟成麺」が大当たりした孝之は、毎日製造と配達で大忙し。



昭和26～44年まであった公衆ラーメン名店街。自然に並んだ8軒のうち7軒がラーメン店だったことから、この名がついた。



昭和43年に西山製麺は札幌市中央区南13条西10丁目に工場と会社を移転。配達のための営業車もずらりと用意。



昭和46年に路地の石炭小屋を店舗に改装してできた元祖ラーメン横丁。当時は、まだ片側にしか店舗がなかった。



TEL.011・863・1331

〒003-8701
札幌市白石区平和通
16丁目南1-1

www.nishiyama.seimen.co.jp

2度の増築工事を経た現在の西山製麺本社工場社屋。日産最大20万食の生産が可能。



昭和22年の暮れ、札幌ラーメンの歴史は屋台から始まった。どの屋台も、食べ物を求める人々で大繁盛！スープは豚骨の醤油味というのが、定番だった。

そんな屋台のラーメン店の中でも、戦前に中華料理の修行をした麵打ち名人・西山仙治の「だるま軒」は大繁盛！他店にも麵を卸すようになり多忙を極めた「だるま軒」に、頼もしい助け人が加入する。

「だるま軒」の製麺部門は孝之のがんばりによって、いよいよ拡大。昭和28年には仙治より製麺部門を譲り受け、西山製麺所今の西山製麺として独立。



一方、同じくラーメン店をやっていた「味の三平」の大宮守人は昭和29年頃、メニューに味噌ラーメンを初登場させる。味噌味で野菜たっぷりの「新ラーメン」が大評判に。

この味噌ラーメン用として、現在にまで続く札幌ラーメンの麺「多加水熟成製法」による卵入りでウエーブのかかったアシ・コシの強い生ラーメンを孝之が開発！

この頃完成した札幌ラーメンの基本の姿とは、スープは豚骨と野菜をベースとしてじっくり煮込んだ濃厚なもの。麺は生卵が入って黄色になった、もちりとした歯ごたえが楽しめる多加水熟成麺。この中太で縮れた麺が、スープにマッチする。

「ラーメンの街・札幌」というイメージが定着するきっかけとなったのが「味の三平」の味噌ラーメンを食った花森安治が、自ら主宰する雑誌「暮らしの手帖」に札幌ラーメンを絶賛する記事を書いてから。観光客が「味の三平」に殺到するようになる。

「味の三平」が大繁盛するのを見た他のラーメン店から孝之のところに、味噌ラーメンを出したいので多加水熟成麺を売ってくれ、あるいはタレの造り方の指導をしてくれとの依頼が殺到し、これに 대응して札幌味噌ラーメンが気に広まった。

ラーメン横丁の先駆けは、昭和26年から44年まであった「公衆ラーメン名店街」。西田保次の「芳蘭」、松田勘七の「龍鳳」等、7軒の店が大繁盛。これが取り壊された後の昭和46年に元祖ラーメン横丁が、昭和51年には新ラーメン横丁が誕生。今でも札幌観光の人気スポットだ。

西山製麺の歴史

- 昭和25年 西山孝之(西山製麺創業社長)が「だるま軒」に入り製麺部門を担当する。
- 昭和26年 自家用の外に他のラーメン店からの要望に応え業務用卸部門を徐々に拡大させる。
- 昭和28年 札幌市中央区南3条西8丁目に於いて西山製麺所を開業
- 昭和30年 現在親しまれている札幌ラーメンの麺(多加水熟成製法)による卵入りでウエーブのかかったアシ・コシの強い生ラーメンの開発に成功
- 西山製麺株式会社を設立
- 昭和38年 本州業務店市場へ西山ラーメンの出荷を開始
- 昭和40年 小売店市場へ西山ラーメンの出荷を開始
- 昭和48年 ゆで麺、焼きそば、冷凍餃子の製造を開始
- 昭和49年 札幌市の学校給食の指定工場に認定され委託製造を開始
- 昭和50年 海外市場へ西山ラーメンの出荷を開始
- 昭和55年 札幌市白石区平和通16丁目本社および工場を移転する
- 昭和59年 業界で初めて製麺工程にロボットを導入する
- 昭和62年 札幌市の小学校3年生の社会科現地学習の教材に取り上げられ現在にいたる。
- 平成2年 冷凍麺の製造を開始
- 平成8年 事務効率化、営業強化のため全社的にパソコンシステムを導入する
- 平成18年 チャーシュー製造のため西山食品(株)を設立し隣地に工場を新築する
- 平成23年 開業支援強化のため(株)美食房を設立しアパレルショップの出店を開始